



環境配慮報告書 2019

東京エレクトロン宮城株式会社



環境マネジメントシステム

環境方針

東京エレクトロングループでは ISO14001 を統合し、一括認証しております。

以下に東京エレクトロングループの環境方針を示します。

◆ 東京エレクトロングループ 環境方針 ◆

① 環境目標と継続的改善

環境目標を設定し、製品ライフサイクルの環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

② 法令等の遵守

環境関連の法令を遵守するだけでなく、環境問題を幅広く調査し、自主基準などを制定します。

③ 製品での環境貢献

最先端技術を駆使し、環境適合型製品を開発します。顧客や取引先と連携・協力し、環境問題の未然防止と改善に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。

④ 事業活動での環境負荷低減

事業活動における環境負荷を定量的に把握し、その低減を含む環境活動を従業員と一体となって、積極的かつ継続的におこない、汚染の予防と環境保護に努めます。

⑤ 社会との連携・協力

ステークホルダーとの共通理解のもと、連携・協力を推進し、その期待に適切に対応していきます。

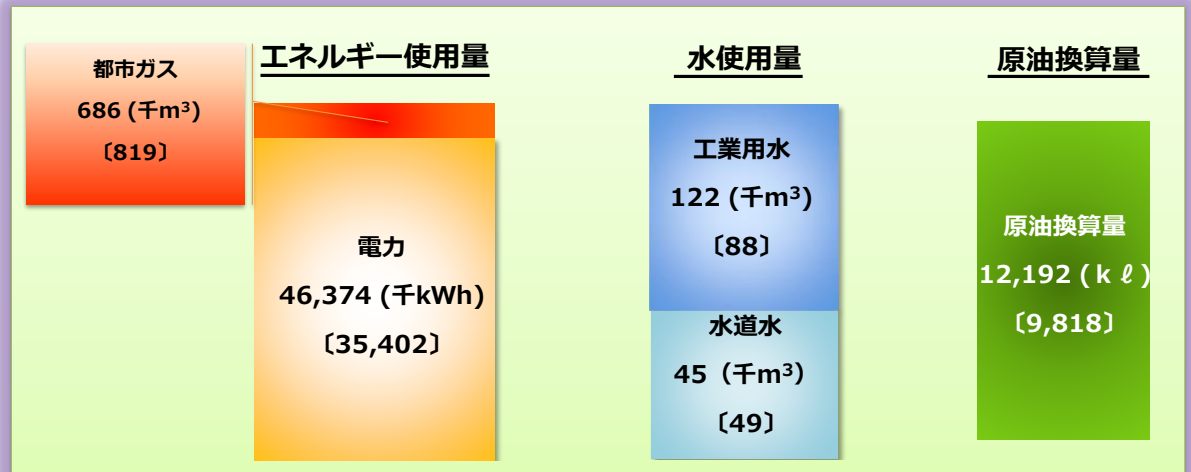
2016年7月1日改訂

東京エレクトロン宮城（株）の環境実績データの報告

東京エレクトロン宮城（株）の2018年度の環境負荷・環境配慮についてご報告いたします。

2018年に物流棟（25,338㎡）が本格稼働（2017年12月竣工）し、10月には第二開発棟（11,600㎡）が竣工しました。従業員数も増加し、その結果エネルギー使用量は原油換算比24%増加しました。水使用量も全体で22%増加しました。省エネの努力を継続していますが、規模拡大による増エネとなりました。

[] 内は2017年度実績

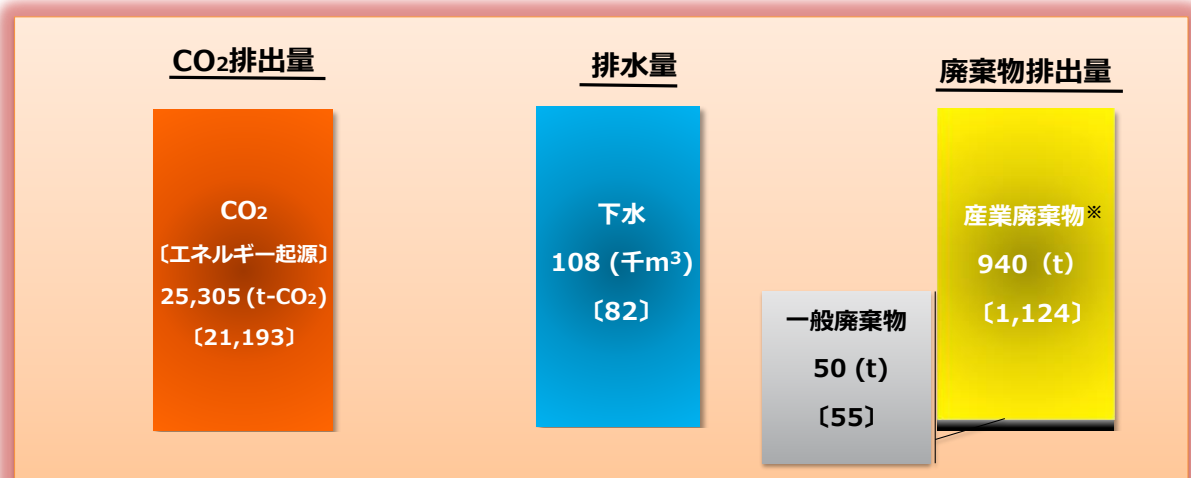


インプット



エネルギー原単位

エネルギー原単位
0.02775
〔0.02094〕



アウトプット

※ リサイクル率99.4%

産業廃棄物につきましては総排出量 940t で前年度比 17%減少しました。梱包方法の見直しにより、廃プラの減少が顕著です。リサイクル率は 99.4%でした。工場からの排水も分析の結果すべて基準値内でした。今後も環境配慮の実践を継続していきます。

環境活動

2018 年も『みやぎの里山林協働再生支援事業』に参画し、大和町宮床の『東京エレクトロンの森』にアカマツやミズキなど 87 本を植樹しました。散策路整備として橋づくりをおこない巣箱の取り付けも実施しました。次年度以降も森づくりを継続してまいります。



食堂から排出される廃油をバイオディーゼル燃料（BDF）の原料として提供し、2018 年度は 2,200 ℓ 提供しました。

ヤギの飼育も継続しています。除草と癒しの提供をおこなってくれました。



東京エレクトロン宮城株式会社 環境安全推進室

〒981-3629 宮城県 黒川郡 大和町 テクノヒルズ 1 番

Tel : 022-346-3111 URL : <https://www.tel.co.jp/about/locations/tml.html>

発行 : 2019 年 8 月